

真下 章(ましも・あきら)

1929年3月7日—2019年2月13日



勢多郡粕川村(現前橋市)生まれ

詩集『豚語』『神サマの夜』『赤い川まで』

1987年、詩集『神サマの夜』で第38回H氏賞受賞。

東国の会、群馬詩人クラブ、日本現代詩人会所属



「お正月に」木版画 真下章

梁瀬 和男(やなせ・かずお)

1926年12月24日—2018年6月25日



前橋市生まれ

詩集『夏の草』『初期詩篇』『死者の夏』

評論『萩原朔太郎』『高橋元吉の人間』『岡田刀水士研究』

随筆『前橋心象風景』

日本文芸家協会、日本現代詩人会所属



「ある日のこと」木版画 真下章

「赤城の子守唄」を作った詩人 佐藤惣之助 生誕130年記念展

〒前橋文学館 ☎027-235-8011



楽譜『赤城の子守唄』(1934年)
竹岡信幸作曲



詩集『わたつみの歌』(1941年7月)
朔太郎による装幀



惣之助と妻・愛子、1935 (昭和10)年頃

「昨日ヨリモ優シクナリタイー和合亮一を読む」の動画を公開



新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止のため中止となった、「わたしたちはまだ林檎の中で眠ったことがない—第27回萩原朔太郎賞受賞者 和合亮一展」の関連イベントで予定していたポエムリーディングを動画で公開。本市公式YouTubeチャンネルで配信中です。

出演=女優・手島実優さん、あかぎ団・磯干彩香さん、隆善舞台・坂川善樹さん、女優・星野早香さん、女優・あやのさん、文学館長・萩原朔美、ピアノ演奏・山屋寿徳さん

最新の開館状況などは
同館ホームページをご覧ください



●真下章・梁瀬和男回顧展「豚と自転車」
本市で詩作を続け、詩集や詩誌を発行してきた詩人、真下章と梁瀬和男。2人の詩人の業績を紹介します。
日時 5月10日(日)〜24日(日) (水曜を除く)、9時〜17時 (入館は16時30分まで)
会場 前橋文学館

●関連イベント「豚と自転車 真下章・梁瀬和男の人と作品 朗読と講演会」
日時 5月23日(土)14時〜16時
会場 同館
対象 一般、先着50人
講演 詩人・川島完さん、詩人・堤美代さん他
問 芽部・新井 ☒ relaxin.a@blue.plala.or.jp

佐藤 惣之助(さとう・そうのすけ)

1890年12月3日—1942年5月15日

神奈川県川崎市生まれ。俳句を佐藤紅緑に学ぶ。小山内薫らとの交流により、戯作を始める。その後、千家元麿、福士幸次郎、木村荘八、岸田劉生らと雑誌「テラコッタ」を、1916年に第一詩集『正義の児』を出版。その後、次々に詩集を刊行する。詩話会会員となり、『日本詩集』の編集を萩原朔太郎と担当した。自らの家を「詩の家」と称し、詩誌「詩之家」を主宰、後進の育成に力を注ぐ。1933年に萩原朔太郎の末妹の愛子と再婚。晩年は、作詞家として「赤城の子守唄」や「湖畔の宿」、「六甲おろし」など数多くの歌謡曲を手がけ、コロムビアレコードの専属作詞家に。義兄・朔太郎の葬儀では葬儀委員長を務めるも、朔太郎が没した4日後、脳内出血で逝去した。

2020
5/23(土)から7/19(日)まで
水曜を除く。9時〜17時(入館は16時30分まで)

一般 400円

高校生以下、障害者手帳を持っている人と介護者1人は無料。
5月23日(土)・6月21日(日)・7月18日(土)、前橋七夕まつりの期間
は無料

企画展「夢よ、水の火ともなれ 佐藤惣之助生誕130年記念展」を開催します。
萩原朔太郎の義弟で朔太郎と同年代に活躍した詩人、佐藤惣之助は歌謡曲「赤城の子守唄」や「湖畔の宿」、「六甲おろし」の作詞家として知られています。この企画展では惣之助生誕130年を記念して、詩人としての惣之助やあまり知られてこなかった惣之助の一面を紹介いたします。